

計画事業番号	00625	事務事業名	地域土木振興事業	担当部署	建設部土木事務所	電話	6103
--------	-------	-------	----------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	北広島市土木工事補助条例			
事務事業開始年度	昭和55年度		個別計画等	-			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章) 快適な生活環境のまち	
	(第 3 節) 道路の整備	
	(施策 1) 市内幹線道路・生活道路等の整備	
2 対象	町内会等、住民生活の向上に寄与する目的で共同で土木工事を施行する団体	
3 目的と内容	市内の土木施設の整備を図り、住民生活の向上のため、共同で土木工事を実施する者に対し、事業費の支援を行う。 市が管理する以外の道路等で、土木工事を施工する団体に、工事費用の1/2以内の額の補助を行う。	
4 実施内容 (手 段)	28年度まで	平成19年度:3団体、平成20年度:2団体、平成21年度:3団体、平成22年度:1団体 平成23年度:3団体、平成24年度:3団体、平成25年度:2団体、平成26年度:4団体 平成27年度:4団体、平成28年度:1団体
	29年度	昨年度と同様であり、3団体分の事業費の補助を行う予定である。 事業費:2,500千円 市補助金(1/2):1,250千円

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
対象団体に助成	対象団体に助成 1団体 事業費:712千円 補助金:356千円	対象団体に助成	対象団体に助成	対象団体に助成

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	市が管理する以外の道路等で、道路施設整備を行うことにより住民生活の向上が図られることから、現状継続とする。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

「拡大」
「現状継続」
「要検討」
「見直し」
「統合」
「休止・廃止」
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			356		1,250		1,320		1,320	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	356		1,250		1,320		1,320	
	① 合計	356		1,250		1,320		1,320		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.01	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	84	0	168	0	168	0	168	0	
総事業費①+④			440		1,418		1,488		1,488	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①対象件数	目標値 実績値	3 1	3	3	3
	②	目標値 実績値				
	③	目標値 実績値				
	④	目標値 実績値				
成果指標	①	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					
	②	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					
	③	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	公共性を有する施設であるので、妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	達成度が指標とされる事業ではないが、地域住民の生活環境改善が図られる。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	各年度により申請数(金額)にばらつきがあるが、可能な範囲で要望に応えている。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	平成25年度に補助率を見直し(2/3→1/2)、補助金の削減を図っている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。	

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 625-1

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	地域土木振興補助金		
交付先の名称 及び代表者名	富輪道路組合 代表 前田寅蔵	設立年	-
構成員(団体)数	37 (29年3月末現在)		
交付先団体等の 活動目的	富ヶ岡528番地先に存する私道の整備を行うことにより、沿線に居住する住民の生活環境の改善を図る。		
交付先団体等の 活動内容	平成21年度 道路補修(路盤整正) L=150m W=3.0m 平成22年度 道路補修(路盤整正) L=140m W=3.0m 平成23年度 道路補修(路盤整正) L=150m W=3.0m 平成24年度 道路補修(路盤整正) L=150m W=3.0m 平成25年度 道路補修(路盤整正) L=150m W=3.0m 平成26年度 道路補修(土留工事) L=9m 平成27年度 道路補修(土留工事) L=10.5m 平成28年度 道路補修(路盤工外) L=60m		
事務局の状況 (28年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体にある <input type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当 状況(28年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	309	356		
	団体負担金	393	356		
	繰越金				
	収 入 合 計 (B)	702	712	0	
支 出	工事費	702	712		
	支 出 合 計 (C)	702	712	0	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
	全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)	44 %	50 %	%	
	補助・交付金の対象経費(項目)	工事費	工事費		
	補助・交付金の対象経費(金額)(D)	618	713		
	対象経費に対する補助または交付金の割合(A)÷(D)	50 %	50 %	%	
	補助・交付金の算出根拠	工事費の1/2以内の額			